



すこやかにこやか東郷っ子

自分らしく生きる力を身につけ、
なかまとたくましく歩む子

福井市東郷小学校 学校だより
令和7年10月3日 第8号
TEL 41-0003 FAX 41-0974
Mail togo-e@fukui-city.ed.jp

東郷っ子につけたいたくましさ「4つの力」

- (1) 自分を知り、好きになる力
- (2) 人を大切にして、関わっていく力
- (3) 自分の考えをもち、語る力
- (4) 失敗を恐れず、挑戦する力

今年度前半の学校評価 結果をお知らせいたします

今年度7月に実施した学校評価につきまして、お忙しい中、ご協力ありがとうございました。7月の結果がまとまりましたのでお知らせいたします。「R7」の欄の数値(%)はR7年7月分、今回の結果です。「R6」の欄は、昨年度の結果です。数値は「A よくあてはまる」「B:ややあてはまる」を合計した割合を載せています。色色の欄は、福井市共通評価項目です。



令和7年度東郷小学校 児童・保護者・教職員 第1回「学校評価」結果

スクールプラン数値目標		児童		保護者		教職員	
		R7 7月	R6 12月	R7 7月	R6 12月	R7 7月	R6 12月
児童・保護者・教職員 の意見・感想を 踏まえて	みんなで何かをするのは楽しい。	99	99	学校は、子どもたち一人一人を大切に温かく指導している。	90 ↓	91	
	自分を大切に認めて、共に取り組んでいる(児童90%以上)	96 ↑	93	我が子は、自分を大切に認めて、関わっていきこうとする心が育ってきていると感じる。	89 ↓	91	100
	自分の意見を最後まではっきり話す(児童90%以上)	94 ↑	91	我が子は、自分の考えや思いを相手にしっかりと伝えることができる。	78 ↑	74	93
	道徳の時間には考えを深めることができている。	95	95	赤字:スクールプランの目標を上回った数値			93
新設→	家族や友達、地域の人に挨拶をしたり、返事をしたりしている	94	-	我が子は、家族や友達、地域の人に元気に挨拶をしている。	91	-	100
	自分たちの課題に気づいたり、取り組んだりしている(児童85%以上)	96 ↓	97	青字:スクールプランの目標を下回った数値			100
	将来の夢やめざす目標をもっている(児童95%以上)	92 ↑	90	我が子は、将来の夢やめざす目標をもっていると感じる。	55 ↑	52	80
	ふるさと福井である東郷を大切にしたい(児童90%以上)	98 ↓	99	我が子は、ふるさと福井である東郷を大切にしたいという気持ちをもっていると感じる。	63 ↑	61	100
児童・保護者・教職員 の意見・感想を 踏まえて	失敗を恐れず、挑戦しようとしている	95 ↑	93				93
	授業に自分から進んで(主体的に)取り組んでいる。	94 ↑	92				100
	授業がよくわかる。	93 ↑	92				100
	先生は授業内容を一生懸命教えてくれる。	99	99				
児童・保護者・教職員 の意見・感想を 踏まえて	授業で、PC、タブレットなどのICT機器を使っている。 A:ほぼ毎日 B:週3回以上 C:週1回以上 D:月1回以上 E:月1回未満			A 47(41) B 13(24) C 40(18) D 0(6) E 0(12) ※ () 内はR6.12月の結果			
	学校教育目標や児童につけたい力について知っている(保護者90%以上)			A 31(41) B 20(31) C 27(21) D 18(5) E 4(2) ※ () 内はR6.12月の結果			
	学校が楽しい(児童90%以上)	96 ↑	95	我が子は、学校生活を楽しくしており、友人関係も良好である。	95	95	100
	学校全体で児童理解・支援につなげた(教員100%)	99 ↑	97	子どものことで、気軽に学校に相談できる。	90 ↑	88	100
児童・保護者・教職員 の意見・感想を 踏まえて	いじめを見たら、大人に知らせたり、止めたりすることができる。	88	88	④			
	学校の考えが適切に伝えられている(保護者90%以上)			学校は、「懇談会」「学校だより」等を通して、保護者に教育方針や教育内容を適切に伝えている。	95 ↑	91	100
	交通安全や生活面の安全に気をつけて生活している。	98 ↓	99	学校は、災害対応訓練や不審者への対応、交通安全など、安全面について適切に指導している。	93 ↓	95	100
					95	95	100

「児童」評価について
◎スクールプランで設定した項目において、目標数値を上回っています。学年や学級が新しくなり、意欲をもって学習や活動に取り組む様子が見られることは大変喜ばしいことです。しかし、その一方で、「C:あまりあてはまらない」「D:まったくあてはまらない」と感じている児童も少なからずいることも事実です。一人一人の気持ちを大切に丁寧に向き合い、今後も、東郷っ子が、仲間とともに意欲をもって様々な活動に取り組む、自己有用感、自分への自信、相手への信頼を高め、笑顔で「学校が楽しい!」といえるような教育活動、学校づくりを目指します。

★★結果をふまえて★★

①「自分の意見を最後まではっきり話す」評価について

◎▲9割以上の児童が「自分の意見を最後まではっきり話せている」と評価している一方、保護者の皆様の評価は昨年度より上がったものの児童との差が大きくなっております。今後、児童の「相手に伝わりやすいように話す」「相手の意見も聞きながら話す」など、質的な向上を目指すとともに、今後はご家庭に児童の姿が伝わる工夫をして参ります。併せて児童の表現を育む授業の工夫も継続して参ります。保護者の皆様には、お子様の意見や話をじっくり聞く時間を取っていただけますと幸いです。

③「将来の夢やめざす目標」について

今年度、スクールプランの目標を95%に上げていますが、児童の「A,B」の回答率は92%でした。昨年度より数値は上がってはいますが目標には届いていません。また、保護者評価では、昨年度より上がったものの55%となっており、差が大きく開いています。本校では、冊子「夢へのパスポート」や福井市発行「小学生のためのお仕事ノート」等を活用したり、ゲストティーチャーに仕事を選んだ理由などを聞いたりして、仕事を知り、段階的に自分自身を見つめたり将来の生き方を考えたり、またスモールステップでの目標設定や将来の自分を考えたりしています。今後は、お子様の夢や目標などについて、ご家庭での話題となったり、お子様と共に考えていただいたりして、ご理解いただけるよう取り組み方を工夫して参ります。



②「挨拶」評価(新設項目)について

◎挨拶については、児童・保護者・教職員共に9割を超える評価を得ることができました。しかし夏休み以降、若干挨拶に元気のない様子がうかがえます。今後は、明るくはきはきとした挨拶や返事ができる子を目指して取り組んで参ります。

④「いじめを見たら大人に知らせたり止めたりできる」について

児童評価の88%という数値は、残りの12%が「知らせたり止めたりできない子がいる」ことを意味しています。そこを改善するために、「未然防止」「早期発見・共有」の徹底をはかり、児童へは、「知らせることは勇気である」教育の継続、「じゃれ合いやふざけの中にもいじめが存在する」「ふざけなどがエスカレートしたときどう声をかけるか」「見て心配なときにどう先生に伝えるか」など、ロールプレイや具体場面での学習、安心して伝えられる仕組みなど、子どもが「声を上げやすい」方法を整えていきたいと考えています。今年度、本校の「いじめ防止基本方針」も一部改訂いたしました。東郷っ子が安心して学校生活を送っていけるよう、取り組んで参ります。

本校の「いじめ防止基本方針」をご覧ください。

<https://www.fukui-city.ed.jp/togo-e/ijime/O70922ijime.pdf>



いただきました評価を肝に銘じ、今後もお子様に「つけたい力」をつけるための教育活動をすすめ、お子様の成長を見ていただくことでご理解をいただけるよう努めて参ります。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。